Report

「NSC見学会&交流会」開催

2019年3月18日(月)
於) NSC YCC大阪 (第1部)・スイスホテル南海大阪 (第2部)

NSC(ニュー・スター・クリエイション)見学会を今年も開催。芸人を目指して1年間受講された生徒の皆さんの芸と、本多正識先生による指導及び講評を見学しました。生徒の皆さんの緊張感が伝わる空気の中、的確な指導と激励を聞き、ニューヒーローの誕生を願う気持ちに…。授業では「芸」のみでなく、「人としてあるべき礼儀」も厳しく指導しておられ、その上で「芸」について自らを追求、答えを探していくことが永久の課題となりそうです。

第2部交流会では、本多先生のご講話と会員の皆さんとの質疑応答の席を設けていただきました。今現在活躍中の芸人さんとのエピソードなどは興味深く、最近出版された著書にも触れ「人育て」という軸に向き合っておられることに感銘されたという感想が多くありました。

本多正識先生(プロフィール)　大阪府生まれ。漫才作家。吉本NSC講師。NSCではこれまで1万人以上の芸人志望生を指導。オール阪神・巨人の漫才台本をはじめ、テレビ、ラジオ、新喜劇などの数多くの台本を執筆。

◀本多先生が最近出版された著書「笑おうね生きようね」(左)※いじめで辛い思いを抱えている人たちに向けたメッセージ。
「素顔の岡村隆史」(右)※本多先生がNSCの生徒であった時の岡村隆史とのエピソードなど。

全国書店などで発売中です!

「演芸」と「観光」から、大阪、関西「ならでは」の「感幸地」に!

和歌山大学は国立大学で唯一の「観光」学部を持つ大学です。ご縁がありまして、その設置にあたって当時の学長からお誘いを受け、2007年4月に転任させていただきました。そして、同じくご縁がありまして2007年4月に発足した関西演芸推進協議会にも、中井政嗣専務理事からお誘いを受け入会させていただきました。以来、断続的ではありますが、学生ともども出前寄席、笑学、そして関西しゃべくり話芸大賞運営のお手伝いをさせていただくことで、「観光」を「演芸」の視点から検討する貴重な機会をいただいております。こうした活動を通じて「観光」も「演芸」もその本質は集客にあり、人と人との交流にあり、何よりも楽しさにあることに確信を得ることができました。「演芸」文化をみがき上げることは大阪「らしい」、大阪「ならでは」の観光の魅力を高め、関わる人たちを幸せな気持ちにします。すなわち、「観光地」づくりは「感幸地」づくりに通じます。これからも会員の皆さんと関西演芸推進協議会の活動を通じて大阪を、さらには関西を「感幸地」にしていければと存じます。(和歌山大学観光学部観光学科　教授　出口竜也)

予告　研究会開催のご案内

「大阪の“らしさ、ならでは”について考える」

～なぜ上方で演芸が盛んになったのか～

◆開催日時　2019年4月25日(木)18:30～20:30
◆講師　和歌山大学　観光学部教授　出口竜也 先生
◆場所　ハービスPLAZA(オフィスタワー)6階 会議室
(大阪市北区梅田2丁目5-25　℡06-6343-7350)
◆会費　会員 1000円　ビジター 1500円　学生 500円
(軽食を用意しております)
◆締切　4月22日(月) ※定員30名

西日本豪雨災害に募金しました

産経新聞厚生文化事業団を通して「西日本豪雨災害」へ募金いただいた125,483円を寄付しました。

領収証

№25018252　47648
発行 2018年7月27日

〒 556-0011
大阪府大阪市浪速区難波中
1-10-4

¥125, 483※

関西演芸推進協議会　御中

但し　西日本豪雨災害

このたびはご寄託をいただき、有難うございました。福祉に寄せられる深いご理解と賛意に心からお礼申し上げます。
今後とも温かいご支援をよろしくお願いいたします。

【激甚災害等寄付の扱い】個人による当法人への寄付は、所得税法第78条第2項第1号による「寄付金控除」を受けることができます(下表に証明書掲載)。また法人による寄付は、法人税法第37条第3項第1号に該当します。

浄財のご寄託は下記の口座へ

〒566-8660　大阪市浪速区港町2丁目1-57
難波サンケイビル
社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団
理事長　佐藤 [illegible]

Information

笑学(しょうがく)　漫才のワークショップでボケとツッコミ体感!

いじめや学級崩壊など教育現場では様々な問題がありますが、その原因の一つに子どもたちのコミュニケーション能力の不足があると私たちは考えています。伝えたいことをきちんと伝えることが出来るなどコミュニケーションがしっかり取れれば、いじめにつながりそうな出来事も未然に解決されるのではないでしょうか。そこで、まさにデジタル世代の小学生に対して、関西の演芸文化の真骨頂である漫才からボケとツッコミを体感してもらい、相手の話を聞き、話の展開を読む力や互いの信頼関係を構築していくアナログのコミュニケーション力「笑学」を体験できるワークショップを企画しています。この企画は、私たち関西演芸推進協議会のプロデュースにより、無償にてワークショップを実施しております。

今回多額の寄付をいただきました大光電機㈱様の社員の皆様と

笑学ワークショップの様子

主　催：NPO法人関西演芸推進協議会
協　力：相互タクシー(株)、
(株)小学館集英社プロダクション、千房(株)
特別協力：大光電機㈱、前田葉子様
対　象：大阪府下の小学校
(募集中※応募校多数の場合は抽選にて決定)

会員募集中!!

関西の上質な演芸文化のために一緒に演芸を応援しませんか?

上方演芸の文化に触れ、共に育む活動を一緒にしませんか…

関西演芸推進協議会では、関西の演芸を盛り上げ、若手芸人の活躍を支援し、演芸の伝統を守り次世代へと継承していくために様々な活動をしていきたいと思っています。

公式ウェブサイト http://www.walive.org　関西演芸推進協議会　検索

編集後記

『好きにやって』今号で紹介したNSC見学会の授業で生徒に向けての本多先生の一言…。これを聞いて「よっしゃ～!」と思える時、思えない時。影響されやすい性格もあって衝撃的な言葉と出会い、自分の身に被ったような気持ちになりました。しかし、なぜかこの時はスゥ～ッと気持ちが楽になったのです。背負っていたもの、一回忘れて「好きにやる」。ウン、これで行ってみよう!本多先生の著書「笑おうね生きようね」にもそんな気持ちになれるフレーズが一杯ありました。「まだまだ伸び代ありますねぇ～」と、こちらはサッカーの本田選手の言葉。「清々しい」春の到来を鶯の鳴き声に見つけた今日の朝でした…(編集部・廣田)

NPO法人関西演芸推進協議会　会報誌

笑ライブ 第27号

walive
2019年4月

「笑ライブ」とは…「笑」、「商」、SHOW(見せる)=LIVEという意味と、「WA」の意味する平和の「和」、みんなで手を繋ぐ「輪」の思いから名称にしました。

【発行】
NPO法人関西演芸推進協議会 編集部
<事務局>
大阪市浪速区湊町2-2-45
オンテックス難波ビル7F
千房株式会社内
TEL.06-6633-1430
FAX.06-6633-1435
http://www.walive.org
info@walive.org

INFOMATION

いつも当協議会へのご理解、ご協力をいただき、会員の皆様には厚く御礼申し上げます。2025年大阪万博の開催も決まり、益々大阪・関西の発展が楽しみになってきました。また、新しい時代へと移りゆく中、関西の演芸および伝統文化を今一度盛り上げ、全国から世界へと伝承していけるよう、この協議会からの発信力も高めていきたいと思います。日本全国、世界各地から関西を訪問される方が増えることが予測されるこれからの時代を背景に、『関西の「演芸文化・伝統文化」伝承のための活動』をサポートしてまいりたいと思います。

CONTENTS

☆「石見神楽大阪公演」開催 ……1頁
☆「第7回関西演芸しゃべくり話芸大賞」開催 ……2頁
☆2019年度「新春例会」開催
☆会員紹介 ……3頁
☆「NSC見学会」開催☆研究会開催のご案内
☆「笑学」のご案内　他 ……4頁

Report

「石見神楽大阪公演」開催【四演目大公演】

2019年2月23日(土)
於) YES THEATER

起源は定かでないが、室町時代後期には舞われていたと言われている伝統芸能「石見神楽」。

追原神楽社中(島根県浜田市金城町)と石見神楽大阪社中(石見神楽なにわ館)による大阪公演(主催:NPO法人　関西演芸推進協議会　後援:一般社団法人 大阪活性化事業実行委員会　協力:YES-fm・YES THEATER)で開催され、昼・夜の部共に世代を超えてのご来場者で満員御礼!大反響の開催となりました。

「天神」、「恵比須」、「頼政」、「八岐の大蛇退治」の四演目は、ダイナミックで迫力の有る舞いや、八調子の躍動感あふれるお囃子、豪華絢爛な衣裳を身につけての舞に圧巻!感動と郷愁を誘う素晴らしい演舞に加えて、美しく装飾された装束衣装や刀を振り上げ戦う絡みの場面など、その佇まいと見事な舞で見ごたえたっぷり。

また、演目ごとの解説は宮川さゆみさんが進行され、時折り笑いを誘う楽しいトークで会場は和やかに。大阪らしい「石見神楽」の公演を開催することができました。

4月25日、国内初の常設館「石見神楽なにわ館」が浪速区に開設されたことで、今後は大阪でも身近で鑑賞することができるようになります。

今や全国はもとより、海外公演も多く、インバウンドの影響から世界各国から訪問される方々にも注目されるであろう「石見神楽」。ぜひ「石見神楽なにわ館」にもお運びいただき、伝統芸能、石見神楽をご覧ください。

道頓堀リバーフェスティバル「第7回関西演芸しゃべくり話芸大賞」開催

予選　2018年9月22日(土)・23日(日)
於)道頓堀ZAZA POCKET'S

優勝決定戦　2018年10月20日(土)
於)ホテル エルセラーン大阪　エルセラーンホール

グランプリ マルセイユ

準グランプリ ラフ次元

2018年10月20日(土)、ホテル エルセラーン大阪にて第7回「関西演芸しゃべくり話芸大賞」優勝決定戦が開催されました。9月22日(土)、23日(日)に開催された予選には206組のエントリーがあり、激戦を勝ち抜いた10組が決戦へ。予選とは違った緊張した面持ちで会場入りをする芸人さんを見て「今年は何か違うかも?」なんて思ったり･･･。いざ本番!会場はたちまち笑いの渦に包まれ、あっという間に賞レースも終了。審査結果が出るまでお客様にはキュートな歌って踊れて漫才もできちゃうオモロいアイドルの女性ユニット「つぼみ」の歌とダンスをお楽しみいただきました。

グランプリ受賞者は「マルセイユ」、準グランプリは「ラフ次元」に決定!年々、レベルが高くなり、益々大阪を代表する話芸大賞に盛り上がってきました!来場いただきました皆さま、ご協力、ご支援いただきました皆様にあらためて感謝いたします!!

寄稿　大池晶先生(漫才作家)　「第7階関西演芸しゃべくり話芸大賞」審査委員長)からのご寄稿です!!

人生で一度だけテレビで漫才を演じた事があります。昭和の終わり頃、日曜日の夜、横山やすし･西川きよし師匠の司会で、ライバル関係の企業や大学の社員や学生が得意芸を競う『ライバル対抗大合戦(だったと思う)』と言う番組がありました。その番組にサラリーマンだった私が勤務していた会社が出場する事になり、コンビを組んだ後輩と参加したのです。

オーディションを通過した自作のネタで練習を重ねて迎えた収録の日、東京のテレビ朝日のスタジオに着くと、今迄やってきた『すじネタ』ではなく『ショートネタ』を羅列した別の台本が用意されていたのです。今思えば、いくらでも編集の効く『ショートネタ』の使用は番組制作上、当たり前の事ですが、突然の事態に相方は対処できず、本番、セリフが出てこず立ち往生(あくまでも相方の方ですよ)、出番を終えた我々に、チームの応援団長だった横山やすし師匠から一言、『どアホ!』……これが当日、やすし師匠から掛けられた唯一の言葉でした。

そして、四十年近い年月が過ぎ、そんな我が身を省みず、おこがましくもコンテストの審査員を拝命する身になった今、見事に舞台を務めあげるコンビには最大級の敬意を払い、たまに失敗するコンビには小さなシンパシーを感じながら厳正な審査を務めて参ります。

▲優勝決定戦で総評される大池先生

大池晶先生(プロフィール)
漫才作家、放送作家。昭和56年「上方お笑い大賞」秋田實賞受賞。NHKラジオ「上方演芸会」、毎日放送「上方漫才まつり」等の演芸番組で中田カウス･ボタンらの漫才台本を執筆。
NHKテレビ「バラエティ生活笑百科」の台本を番組開始当時から担当。関西演芸作家協会･副会長。日本笑い学会･副会長。

2019年「新春例会」開催

2019年1月30日(水)
於)スイスホテル南海大阪

開会の挨拶をされる小野会長

1月30日(水)スイスホテル南海大阪において、難波スイス会、関西演芸推進協議会の合同新春例会が開催され、400名もの方のご参加で大盛会となりました。乾杯のご発声では「大阪を関西を世界の舞台に昇らせていこう!」と大阪観光局 溝畑宏局長が、会場の空気をひとつにまとめ上げられました。

また、大阪の発展を祈念して様々なゲストの皆さま、そして、各界からの皆さまとの懇親、また、石見神楽の演舞などなど、華やかな新春例会となりました。ご参加いただきました皆さま、関係者の皆さまに熱く御礼申し上げます。

大阪観光局 溝畑宏局長

ゲストの皆さま

石見神楽(恵比須)

福娘の皆さま

会員紹介コーナー

関西演芸推進協議会に寄せて

父親に代わって大阪奈良県人会に寄せさせて頂き、中井会長から関西演芸推進協議会があるとお聞きし、入会してから10年が過ぎようとしています。
笑の会、ねっこの会等にも参加させて頂き感謝しています。『笑う門には福来る』を心情に精進していますが、ちょっとした事で不機嫌になってしまうのが現実です。そんな時は呪文を3回唱えます。“オンニコニコ　ハラタツマイゾ　ソワカ”です。少しは落ち着くようですので、機会があれば試してください。
還暦を過ぎてから耳が遠く成った様でテレビの声が聞き取り難く、補聴器を購入いたしました。テレビの音声はよく聞き取れるのですが、家内の声も聴こえて来ます。普段は付けない様に心がけています。日々、感謝と報恩ですが、感動と喜び多い人生を送りたいものです。“喜べば　喜びごとが　喜んで　喜び連れて　喜びに来る”　そう在りたいものです。

松塚建設株式会社　松塚博司

本年度よりスタッフの一員となりました。
日本の伝統技術・文化を広める事業にも携わっておりますので、関西演芸推進協議会の活動を通じ、関西ならではの演芸文化をを盛り上げるお手伝いをしたいと思います。お笑いも大好きです。また、文楽や能などの世界に発信できる伝統文化の発展にも貢献できると幸いです。

株式会社アクエル　岩林明美

平成30年の春、中井専務理事からお声掛け頂き、5月に初めてスタッフ会議に参加してからまだ一年未満ですが、関西演芸推進協議会の趣旨・目的にある「芸人を育て　よりよき鑑賞者を育てる」為に、私自身芸人にはなれませんが、よりよき鑑賞者になれるよう目一杯楽しみながら事務局の一員として務めたいと思っております。

事務局長　株式会社インクローバー　岡本圭子